

保育目標

『思いっきり遊べる元気な子』

保育姿勢

上手下手にこだわらず、型にはまらず
自由に自分から創り出していく子に育つように
「既成の教材をなるべく使わず、
創造性を伸ばすこと」

知識をつめこむのではなく、身近な自然に接して
幼児の生活に根ざした遊びの中で
たくましい心を持つ子に育つように
「戸外遊びを重視すること」

年齢の枠にとらわれずいっしょに遊ぶことを通して
思いやりや、やさしさを持つ子に育つように
「異年齢保育に積極的に取り組むこと」

定員

3～5歳 18名程度

保育時間

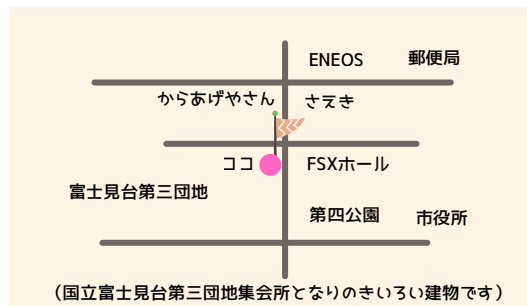
月～金
おひさまさん：9～14時
ゆうやけさん：9～16時
17時まで延長保育あり

風の子は60年 これまでも、これからも

昭和41年、子どもたちにより良い幼児期を過ごさせたいと
願う住民たちの手で、前身となる「国立富士見台団地幼児教室」
がつくられました。それからずっと「子どもたちを真ん中に」
を合言葉に保護者と保育者がともに運営し、地域の中で
子育ての拠点としての役割を担ってきました。みんなで話し
合い、力を出し合って運営していく中で多くの繋がりや信
頼関係が育まれています。



てつなぎ保育 風の子 園舎 「きいろいおうち」



(国立富士見台第三団地集会所となりのきいろい建物です)



てつなぎ保育 風の子

〒186-0003 国立市富士見台3-7-3

070-9047-5058

kunitachifujimidai.kazenoko@gmail.com



認可外保育施設

てつなぎ保育
風の子



子育てに感動を

子育ては一瞬
仲間は一生





風の子の一日

- 9:00 登園
9:30 おあつまり
12:00頃 おべんとう
14:00 おひさまさん降園
パワーナップ※・おやつ
16:00 ゆうやけさん降園
17時まで延長保育あり
※15分程度の短い仮眠



風の子の一年

- 4月 入園進級式
5月 親子遠足
6月 団地まつり
7月 セタ
お泊り保育(5歳)
10月 運動会
12月 お楽しみ会
1月 もちつき
2月 レストランやさんごっこ
3月 お別れ遠足
卒園式

※クラス会(保護者と保育者との話合いの場)が月1回程度あります。



「動物園ってどこにあるかな？」
「電車？」「図書館で動物園の本を借りてみようか？」



「国立にはいくつ公園があるんだろう？」
「地図を買っちゃおうっか？」
「行った公園をどんどん、塗っていきようか！」



なにをする？どうやってする？

風の子の一日は、「今日はなにしようか？どこ行こうか？」から始まります。やりたいこと、行きたいところが決まったら、どうやったらできるか？どうやって行くか？みんなで考えて、話し合って決めていきます。時間がかかってもいい、失敗してもいい、けんかしてもいい、すこしくらいケガをしてもいい。保育者は、こどもたちのやりたい！があふれ、夢中になる姿を見守り、たま～に、そっと背中を押します。



ある日のかぜのこさん



「ひまわり会議を始めま～す」
「ひまわりさんの一年間、やりたいことがある人～👉」



「動物園！」「水族館！」
「国立の全部の公園に行きたい！」
「ラーメン食べたい！」
「みんなのおうちに行きたい！」
「流れ星見たい！」



「どう行ったら、みんなのおうちを回れるかな？」
「一番遠いのが○○ちゃんちでしょ？」
「あっち側は明日行こう！」
「出発だ～！」



子育てって、ひとりじゃない 風の子なら、もっと楽しい

風の子は60年。ここでの出会いは、ずっと、多くの家族の子育てを支えてくれています。お互いの子どもを預かり合ったり、おかずを届け合ったり、子どものこと、家族のこと、仕事のことを語り合ったり。困ったときは助け合い、うれしいときは一緒に喜ぶ仲間がいます。卒園してからもつながりは続き、50年以上続くOB保護者のコーラス部や手芸部、現役・OB保護者のバンドも。卒園児が卒業式や成人式の晴れ姿を見せに来てくれるのも風の子ならではの姿です。

風の子の名物はなんと言っても運動会。「運動会を見て入園を決めました！」という保護者が毎年います。運動会の準備はプログラム作りから音響や用具の用意など、子どもも職員も保護者もOBもみんなで協力して行います。子どもたちが描いた色とりどりの旗をグラウンドに飾り付けるのはお父さん達。運動会当日は卒園した小学生、中学生が集まり、恒例のお玉レース。OB保護者も大勢集っておしゃべりに花が咲きます。片付けもみんなです。みんなで楽しむ、みんなで作る行事が風の子にはたくさんあります。行事以外でも保護者が保育に関わる機会がたくさんあり、保護者も保育を、風の子と一緒につくる一員です。

「一人じゃない」安心感の中で、子どもはたくさん大人の大人に見守られ、のびのび育ちます。保護者も仲間と過ごすうちに、いつの間にか子育ての景色が変わっていく。

60年のつながりを、これからの子育てへ。
子育てに感動を——。それが風の子です。



「このじゅうたん川みたいだね。」
「見て～、おさかな作った～」
「あ！水族館みたい～！」



「流れ星、どうしましょう…？」
「うーん…」
「作っちゃいましょうか？」
「作っちゃおうか！」ヒソヒソヒソ…